

京都市立西京高等学校の東北フィールドワークにてミニ講義を行いました (2022/10/6)

テーマ：東日本大震災，災害科学，メンタルヘルス，災害伝承
会場：東北大学災害科学国際研究所多目的ホール

10月6日(木)，京都市立西京高等学校（京都市中京区）2年生58名が，当研究所を訪れました。同校では，毎年北海道，東北，九州などの地域に5泊6日の行程でフィールドワークを行っています。訪問先やプログラムの調整は生徒が主体となって行うそうです。西京高校は，昨年度から当研究所をフィールドワークで訪れるようになりました。前はコロナ禍情勢に対応して，宿泊会場と大学を結ぶオンライン形式で実施されましたが，今年度は，はれて対面での実施となりました。

フィールドワークが行われる前の9月中には，生徒さん達から100件を超える「事前質問」をメールでいただき，それらの質問への回答を，今村文彦所長・教授（津波工学研究分野），國井泰人准教授（災害精神医学分野），佐々木宏之准教授（災害医療国際協力学分野），佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野），マリ・エリザベス准教授（国際研究推進オフィス），門廻充侍助教（津波工学研究分野），濱家由美子助教（災害精神医学分野），内田典子助教（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）が対応しました。

フィールドワーク当日は，今村文彦所長，國井泰人准教授，佐藤翔輔准教授それぞれがミニ講義を行った後，講演内容の関係の有無に関わらず，様々な内容で質疑応答が行われました。西京高等学校の生徒さんからは，訪問当日も沢山の質問をいただき，予定していた時間を大幅に延長するといった非常に活発な質疑応答が行われました。当研究所ほか東北フィールドワークで学んだことを，下級生に伝える発表会も予定されているとのことです。



今村文彦所長によるミニ講義



國井泰人准教授によるミニ講義



会場の様子



質疑応答の様子